

2019年度（2020年3月期） 第2四半期  
**連結決算の概要**

---

2019年11月1日

株式会社 キムラタン

## 2019年度第2四半期連結決算サマリー

### 2019年度 2Q業績目標

売上高	2,400百万円	(前期比	+37.7%)
営業利益	△150百万円	(対前期	+148百万円)
四半期純利益	△165百万円	(対前期	+155百万円)

### 2019年度 2Q業績概要

売上高	2,172百万円	(前期比	+24.7%)
営業利益	△291百万円	(対前期	+7百万円)
四半期純利益	△300百万円	(対前期	+20百万円)

### 2019年度 業績予想

売上高	5,400百万円	(前期比	+33.6%)
営業利益	△130百万円	(対前期	+492百万円)
当期純利益	△160百万円	(対前期	+494百万円)

## 2019年度第2四半期連結業績サマリー

中西の子会社化により24.7%の増収。既存アパレルは2.5%の減収

単位：百万円

	2018年度 2Q	2019年度 2Q	前期比(%)
<b>売上高</b>	1,742	<b>2,172</b>	+24.7
売上総利益	884	1,071	+21.2
売上総利益率	50.8%	49.3%	△1.5pt
販管費	1,182	1,362	+15.2
<b>営業利益</b>	△298	<b>△291</b>	-
営業外損益	△11	△6	-
<b>経常利益</b>	△310	<b>△297</b>	-
特別損益	△7	△1	-
<b>四半期純利益</b>	△320	<b>△300</b>	-

### 主な変動要因

**売上高** 前期比 +24.7%

既存アパレル事業 △2.5%

1Q：△5.0% 2Q：+0.3% 微増ながらも回復基調

**売上総利益率** 対前期 △1.5ポイント

中西の子会社化により相対的に粗利率の低い卸割合増加

既存アパレル事業 +2.0ポイント

**販売費・一般管理費** 前期比 +15.2%

既存アパレル事業 △1.5%

中西・ウェアラブルIoT事業経費が純増となる

**営業外損益**

支払利息が増加 株式交付費が減少

**特別損益**

前期は災害による損失を計上

## 2019年度第2四半期業態別の分析

既存アパレル事業では2Q（7月～9月）は+0.3%と微増ながらも回復基調

単位：百万円

	2018年度 2Q	2019年度 2Q	前期比(%)
<b>全社売上高</b>	1,742	<b>2,172</b>	+24.7
■ Baby Plaza	919	<b>850</b>	△7.4
■ BOBSON	279	<b>271</b>	△2.9
■ テナント	123	<b>154</b>	+24.6
■ ネット通販	323	<b>338</b>	+4.6
■ 専門店卸	110	<b>61</b>	△44.7
■ 海外	△37	<b>0</b>	-
■ 中西	-	<b>475</b>	-
■ その他	23	<b>20</b>	△14.0

### 主な変動要因

- Baby Plaza（既存店売上前期比 △5.5%）  
4月の低気温により夏物立ち上がりに遅れ
- BOBON（既存店売上前期比 △2.1%）  
2Q（7月～9月）では前期実績を上回る
- テナントショップ（既存店売上高 △3.7%）  
アウトレット店の販売が不調
- ネット通販  
春物販売が堅調。持越し在庫を重点販売
- 専門店卸  
市況の厳しさから受注低迷が継続
- 海外  
前期のマイナスは解消
- その他  
保育園事業収益。魅力ある園づくりに努める

# 2019年度第2四半期連結バランスシート

## 季節変動により在庫が増加

単位：百万円

	2019年 3月末	2019年 9月末	増減
<b>総資産</b>	<b>2,998</b>	<b>2,986</b>	<b>△11</b>
流動資産	2,613	2,624	11
現金・預金	472	248	△223
受取手形・売掛金	676	551	△125
商品及び製品	1,347	1,667	319
固定資産	385	362	△22
<b>負債</b>	<b>1,933</b>	<b>2,019</b>	<b>86</b>
買掛金	128	414	286
借入金	1,496	1,330	△165
<b>純資産</b>	<b>1,065</b>	<b>967</b>	<b>△98</b>

### 主な変動要因

#### 現金・預金

在庫増により営業CFのマイナス幅は拡大

#### 受取手形・売掛金

当社売掛金が1億18百万円減少

#### 商品及び製品

当社在庫は2億74百万円増加

中西在庫は44百万円増加

#### 買掛金

季節要因による増加

#### 借入金

約定返済により1億65百万円減少

#### 純資産

増減は、主に四半期純損失△3億円と

増資による資本金等の増加1億99百万円による

## 2019年度第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

赤字幅は縮小するが在庫増により営業CFのマイナスが拡大

単位：百万円

	2018年度2Q	2019年度2Q	増減
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	<b>△255</b>	<b>△297</b>	<b>△42</b>
税金等調整前当期純損失	△318	△298	19
減価償却費	12	14	2
売上債権の増減（△は増加）	120	127	7
たな卸資産の増減（△は増加）	△149	△353	△204
仕入債務の増減（△は減少）	123	286	162
その他	△44	△74	△30
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	<b>△75</b>	<b>37</b>	<b>113</b>
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	<b>322</b>	<b>36</b>	<b>△285</b>
<b>現金・現金同等物期末残高</b>	<b>346</b>	<b>206</b>	<b>140</b>

営業キャッシュ・フロー

赤字幅は縮小するが在庫増加幅が拡大しキャッシュフローマイナスが増加

投資キャッシュ・フロー

主に店舗設備の取得による支出と保険返戻金の収入

財務キャッシュ・フロー

主に借入金の純減1億65百万円と新株式の発行による収入1億98百万円による

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

